

平成 23 年人口動態統計調査結果の概要(大阪府分)

大阪府健康医療部健康医療総務課 総務・企画グループ

(詳細は厚生労働省ホームページに掲載しています。)

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai11/index.html>

平成 24 年 6 月 5 日に、平成 23 年人口動態統計月報年計(概数)が厚生労働省から公表されました。そのなかから、大阪府分の概要を紹介します。

1 人口動態統計調査について

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的として実施されている「人口動態統計調査」は、「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により市区町村に届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を調査対象としています。市区町村から保健所、都道府県を経由して、厚生労働省でデータを取りまとめています。

2 結果の概要

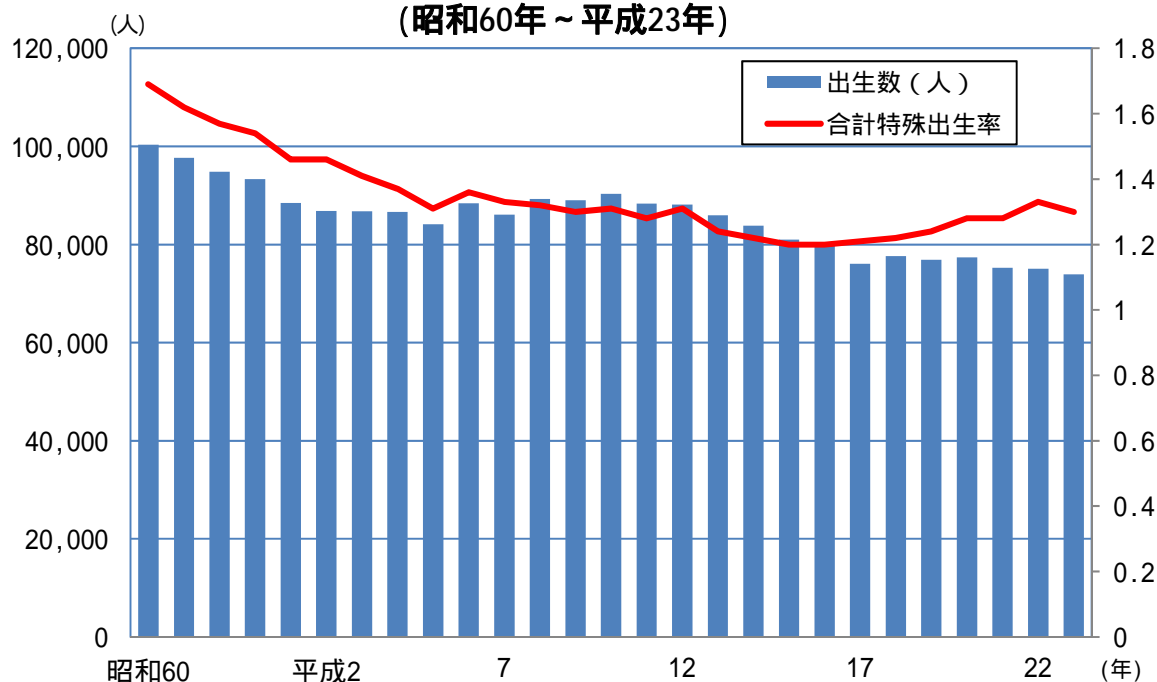
(1) 出生

大阪府の平成 23 年の出生総数は 7 万 3918 人であり、前年(7 万 5080 人)と比べて 1.5%減少しています。平成 10 年(9 万 324 人)から、ゆるやかな減少傾向が続いています。

一方、合計特殊出生率(15~49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの)は平成 23 年で 1.30 であり、前年の 1.33 から微減しています。ただし、最も合計特殊出生率が低かった平成 15、16 年の 1.20 と比べると、わずかながら改善していると言えます。この数値は、全国平均(1.39)よりも低くなっており、都道府県別にみると 40 位となります。

(最高：沖縄県 1.86、最低：東京都 1.06)

大阪府の出生数と出生率の推移
(昭和60年～平成23年)

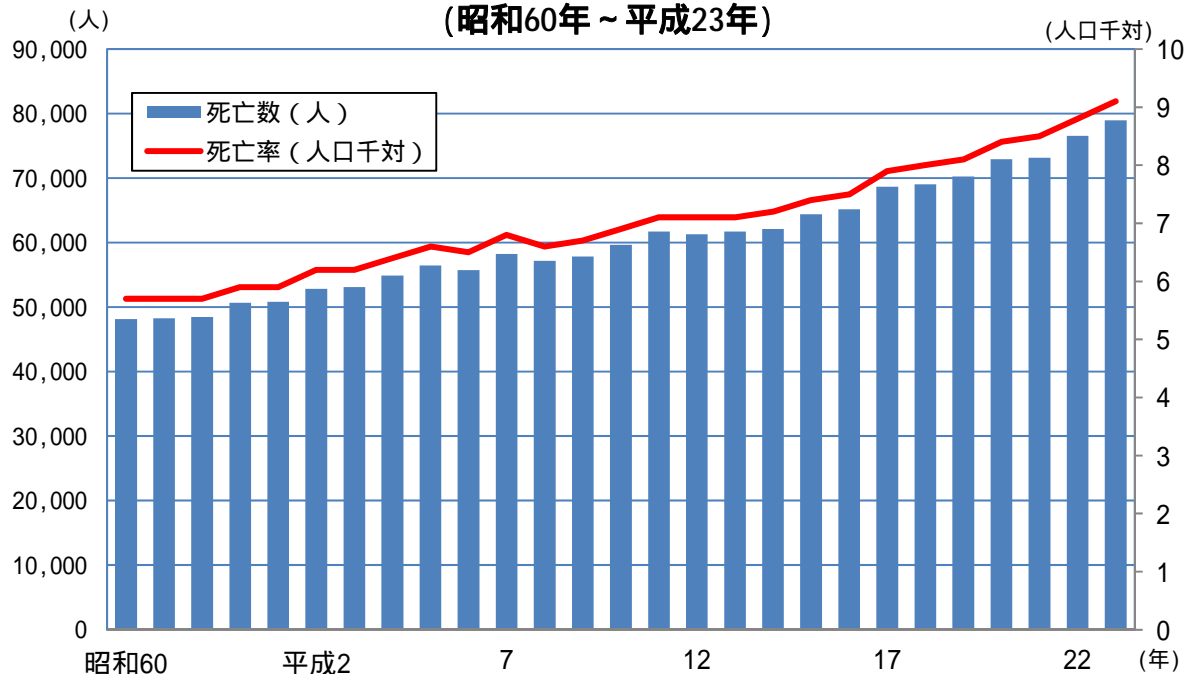


(2) 死亡

大阪府の平成23年の死亡総数は7万8951人であり、前年(7万6556人)と比べて3.1%増加しています。最も死亡数の少なかった昭和30年(3万518人)から見ると、増加傾向が継続していることがわかります。

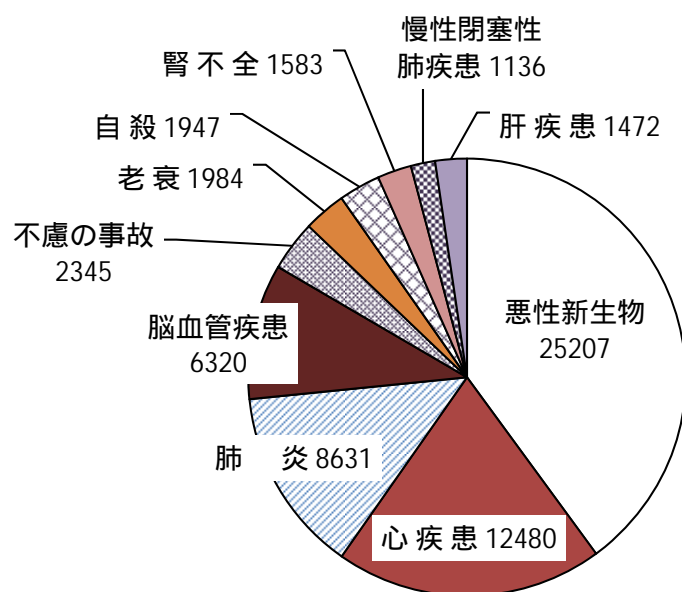
大阪府の死亡数と死亡率の推移

(昭和60年～平成23年)



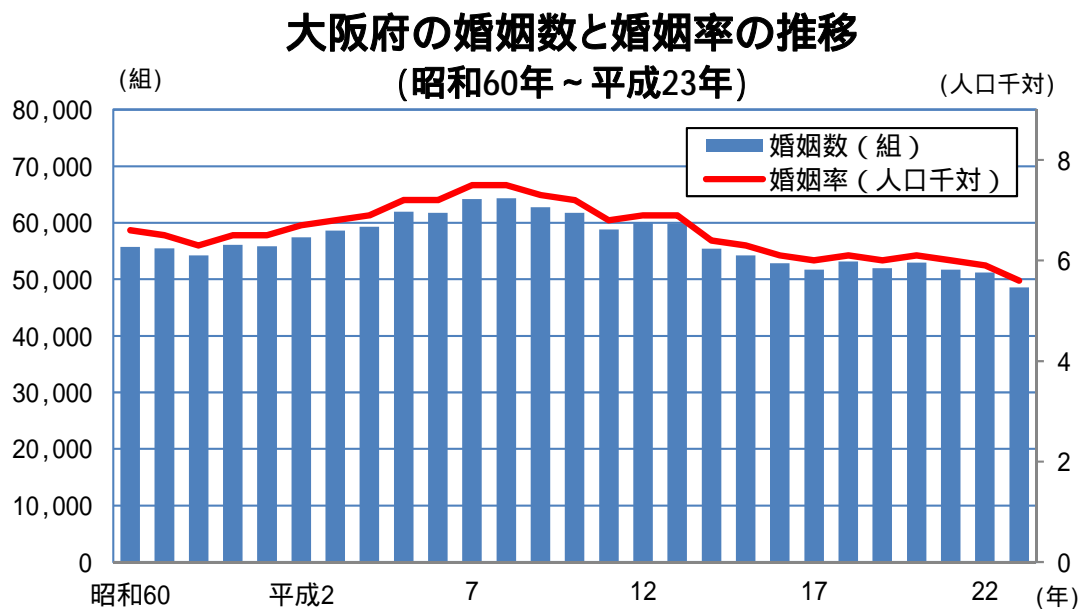
また、主な死因別に死亡数を見ると、最も多い死因は「悪性新生物」であり、次いで「心疾患」「肺炎」「脳血管疾患」となっています。前年に比べ、主な死因の上位5位に変化はありません。

大阪府の主な死因の死亡数(平成23年、人)



(3) 婚姻

大阪府の平成 23 年の婚姻件数は 4 万 8581 組であり、前年（5 万 1242 組）と比べて 5.2%減少しています。婚姻率（人口千人に対する婚姻数の割合）を見ると、平成 23 年は 5.6 であり、平成 7 年の 7.5 から減少傾向が続いています。



(4) 離婚

大阪府の平成 23 年の離婚件数は 1 万 9410 組であり、前年（2 万 752 組）と比べて 6.5%減少しています。離婚率（人口千人に対する離婚数の割合）を見ると、平成 23 年は 2.23 であり、平成 14 年の 2.87 から減少傾向が続いています。

